

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
63	杏林大学	国際経済学A(貿易)	小野田 欣也 総合政策学部 教授	2	春	火	15	10:40~12:10	杏林大学 井の頭キャンパス	1~2

#### 【到達目標】

本講義では国際貿易に関する基礎知識の習得と、現代の貿易問題を論理的に解明できる能力の獲得を目的とする。

\*学位授与の方針との関連:この科目は総合政策学部が学位授与の方針において定めている卒業時点までに獲得すべき能力のうち、(2)幅広い教養、(6)学際性の軸となる専門的な知識を養うことを目的としている。

#### 【授業の概要】

本講義は総論と各論から構成される。まず総論で国際貿易の理論、実証、政策を概説する。続いて各論で、経済摩擦と国際貿易体制を考察する。貿易構造は産業構造を基盤とし、また、貿易政策はマクロ経済政策と不可分の関係にある。それ故、国際貿易を直接対象としつつも、講義領域は日本貿易から世界経済にまで広範に及ぶ。

#### 【授業内容】

以下の予定は、国際経済情勢の変化や講義の進行程度により変更がある。

第1回:講義予定、授業方針、国際貿易入門:毎回の講義予定や成績評価の方法、および講義の対象領域や国際経済の学問分類について説明する。

[講義・質疑応答]

第2回:総論(1)国際貿易の理論(1):比較優位の理論を学ぶ。[講義・質疑応答]

第3回:総論(2)国際貿易の理論(2):ヘクシャーオリーソンサミュエルソンモデルの理論構造を学ぶ。[講義・質疑応答]

第4回:総論(3)国際貿易の理論(3):先進国貿易の理論について学ぶ。[講義・質疑応答]

第5回:総論(4)国際貿易の実証:第2次大戦後の国際貿易の発展に関し、数量的視点を学ぶ。[講義・質疑応答]

第6回:経済摩擦(1):経済摩擦の変遷について学ぶ。[講義・質疑応答]

第7回:経済摩擦(2):経済摩擦の変遷について学ぶ。[講義・質疑応答]

第8回:小まとめ1、小テスト1:これまでの講義に関し小テストを実施し、問題の解説を行う。[講義・小テスト]

\*課題に対するフィードバックの方法:毎回授業の始めに前回の課題についてのフィードバックを行う。

第9回:国際貿易体制(1):第2次大戦後の国際貿易体制のうち、GATT時代のルールと交渉について学ぶ。[講義・質疑応答]

第10回:国際貿易体制(2):ウルグアイ・ラウンドとWTOの成立について学ぶ。[講義・質疑応答]

第11回:国際貿易体制(3):ウルグアイ・ラウンドにおける成果(WTOの成立を除く)について学ぶ。[講義・質疑応答]

第12回:国際貿易体制(4):WTO時代の国際貿易における問題を学ぶ。[講義・質疑応答]

第13回:国際貿易体制(5):WTO時代の国際貿易交渉を学ぶ。[講義・質疑応答]

第14回:小まとめ、小テスト2:これまでの講義に関し小テストを実施し、問題の解説を行う。[講義・小テスト]

第15回:全体のまとめ:講義全体を再度総覧し、成績評価や定期試験に関して説明する。[講義・質疑応答]

#### 【成績評価方法】

平常点(授業中の小レポート)30%、小テスト35%×2回、で評価する。

授業中の小レポートは基本的に毎回実施し、20行程度の論述の提出をもって確認する。なお、定期試験や小テストは持ち込み不可で実施する

#### 【参考書、教材等】

特に教科書は指定しない。

※ この授業は、4/7(火)が初回です。